

令和6年度横浜市普通会計決算の概要

※各項目で四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

1 歳入

2兆559億円

(対前年度+705億円)

《主な要因》

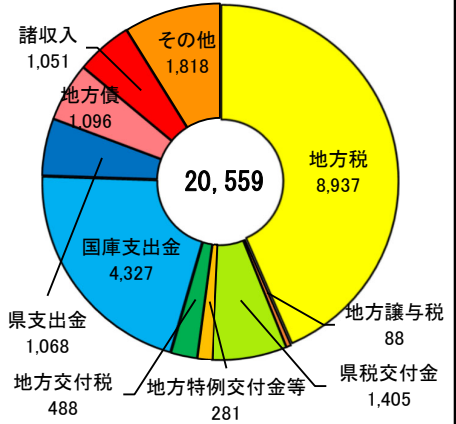
- ・みなとみらい60・61街区の売却等による財産収入の増(+245億円)
- ・定額減税減収補填特例交付金の皆増による個人住民税減収補填特例交付金等の増(+232億円)

【対前年度比較】(単位:億円)

区分	R6年度	R5年度	増減
歳入総額	20,559	19,854	705
財産収入	378	133	245
地方特例交付金等	281	50	232
国庫支出金	4,327	4,225	102
繰入金	433	351	82
地方税	8,937	8,863	74

※上記は対前年度増減額上位5項目を表示

【歳入の状況】(単位:億円)



2 歳出

2兆258億円

(対前年度+678億円)

《主な要因》

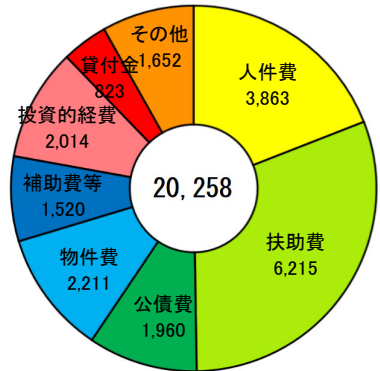
- ・職員の定年引上げによる退職手当の増及び人事委員会勧告による職員給の増等に伴う人件費の増(+311億円)
- ・対象児童数が増加したことによる施設型給付費の増及び制度変更による児童手当支給事業費の増等に伴う扶助費の増(+306億円)

【対前年度比較】(単位:億円)

区分	R6年度	R5年度	増減
歳出総額	20,258	19,579	678
人件費	3,863	3,552	311
扶助費	6,215	5,909	306
物件費	2,211	2,117	93
貸付金	823	752	71
補助費等	1,520	1,599	△79

※上記は対前年度増減額上位5項目を表示

【歳出の状況】(単位:億円)



3 その他 (経常収支比率、地方債現在高、基金積立金現在高)

(1) 経常収支比率

99.0% (+0.9ポイント)

【前年度比較】(単位:%)

区分	R6年度	R5年度	増減
経常収支比率	99.0	98.1	0.9

(過年度(参考) R4: 97.9 R3: 95.1)

(2) 地方債現在高

2兆2,365億円 (△630億円)

【前年度比較】(単位:億円)

区分	R6年度	R5年度	増減
地方債現在高(臨財債含む)	22,365	22,995	△630

(3) 基金積立金現在高

711億円 (△3億円)

うち財政調整基金463億円※(△53億円)
※年度間調整分(150億円)や翌年度以降の活用のために、一時的に積み立てている金額(退職手当: 51億円)を含んだ残高。

【前年度比較】(単位:億円)

区分	R6年度	R5年度	増減
基金積立金現在高	711	714	△3
うち財政調整基金現在高	463	516	△53